

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	「胃癌AI診断の精度向上」のための研究			
2. 対象患者	2009年4月～2019年8月までに上部消化管内視鏡検査が行われ、胃癌と診断を受けた患者様			
3. 対象となる期間	倫理委員会承認日      ～      2023年 3月 31 日			
4. 実施診療科等	消化器内科、血液内科、膠原病内科			
5. 研究責任者	氏名	三上達也	所属	光学医療診療部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学講座 教授 藤城光弘			
7. 研究の意義	本研究では、従来の報告にある胃癌検出感度90%を超えるAIの開発を目指すとともに、早期胃癌の内視鏡治療の適応を決めるうえで必要な、病変サイズ(病変範囲)・組織型・深達度・潰瘍所見の有無、などの正確な診断が可能なAIの開発を行います。本研究計画を通じて、胃癌質的診断の内視鏡自動診断システムが実用化されれば内視鏡施行当日に適切な治療方針の検討を行うことが専門医でなくとも可能となると考えられます。			
8. 研究の目的	胃癌に対する、高性能なAI診断プログラムを開発することです。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	内視鏡検査時に取得される静止画および動画から個人情報情報を削除して、同一患者のデータを紐づけるためにHASH関数という関数を用いて匿名化IDを付します。このように取得された画像データおよびそれに付随する内視鏡検査・病情報はネットワークから切り離されたハードディスクに保管され、分担研究機関である国立情報学研究所にセキュリティの高い方法で供与されます。内視鏡検査・病情報・内視鏡データを集約して、国立情報学研究所において自動診断システムの開発、診断能評価を行います。			
10. 個人情報の保護	患者様個人を特定できる、氏名、IDなどは特定できない状態にしたうえで代表研究機関へ提供します。 また学会や学術誌で研究結果を発表する際も個人情報は含まれません。 対象患者様より拒否の申し出があった際は、研究対象から除外致しますが、匿名化後は患者様を特定できないため削除することができません。また、既に研究結果公表済みの場合は公表済みのデータを修正することは出来ませんのでご了承ください。			
11. 利益相反に関する状況	AMED事業/日本医療研究開発機構 臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業/研究開発課題名:「内視鏡統合データベースと連携する内視鏡診療領域におけるAIプロトタイプ開発と実装に向けたICT基盤整備」研究開発/日本消化器内視鏡学会理事長:井上晴洋)で日本消化器内視鏡学会が受け入れている国立研究開発法人日本医療研究開発機構の公募予算を原資とします。本研究に関する研究統括責任者、研究協力施設の担当医師の利益相反はありません。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 光学医療診療部 三上達也			
	電話	0172- 39- 5053	FAX	0172 - 37 - 5946